上演シリーズ最終公演

イプセン現代劇連続上演第12作

野がも

作：イプセン

台本・演出：毛利 三彌

キャスト＝

藤田 宗久

植田 真介

可知 靖之

頼 三四郎

清水 直子

保　亜美

小澤 英恵

山口 眞司（配役順）

スタッフ＝

演出助手：中川 順子

美　　術：内山　勉

照　　明：桜井 真澄

音　　響：井出比呂之

衣　　裳：樋口　藍

舞台監督：市川 兵衛

制　　作：栗原 暢隆

プロデューサー：名取 敏行

製　　作：名取事務所

新派悲劇か、アチャラカ喜劇か

「復活の日」

思春期の少女を十字架にかけたテーブルの十三人目はだれだ！

名取事務所 Theatre Office Natori 公演

2012年11月21日（水）～11月25日（日）

劇 場：俳優座劇場（六本木）

入場料（全席指定）

前売り＝5,000円　当日＝5,500円　学生＝2,000円（名取事務所のみにて取り扱い）

お問い合わせ：名取事務所 Tel＆Fax 03-3428-8355

主 催：名取事務所　　後 援：ノルウェー王国大使館

野がも

イプセン現代劇連続上演第12作

上演シリーズ最終公演

『野がも』(1884)で、イプセンは内容、形式ともに転向したと思われた。内容では、真実と正義を求める社会派作家から、人生に嘘は必要とする日和見作家に。形式では、古典的三統一に近い劇作法から、シェイクスピア的多様かつ雑多な作劇に。当時の批評家は失望し酷評した。だが、評価は次第に高まり、今日ではイプセンの最高作とするものも少なくない。

ここでは、近代社会の経済的格差を背負った二組の家族が、それぞれの親子関係に過去と現在をからませ、現実と虚構の狭間に落ち込む前期思春期の少女を生贄にささげる。だがそれは、何のための生贄か?

メロドラマすれすれの新境地を切り拓いたイプセンの「酔狂」が、混迷する日本社会を背後から写しとる。

藤田 宗久【豪商ヴェルレ】
演劇集団 円

植田 真介【グレーゲルス・ヴェルレ】
文学座

可知 靖之【老エクダル】
劇団俳優座

頼 三四郎【ヤルマール・エクダル】
劇団俳優座

清水 直子【ギーナ・エクダル】
劇団俳優座

保　亜美【ヘドヴィク・エクダル】
劇団俳優座

小澤 英恵【セルビー夫人】
劇団俳優座

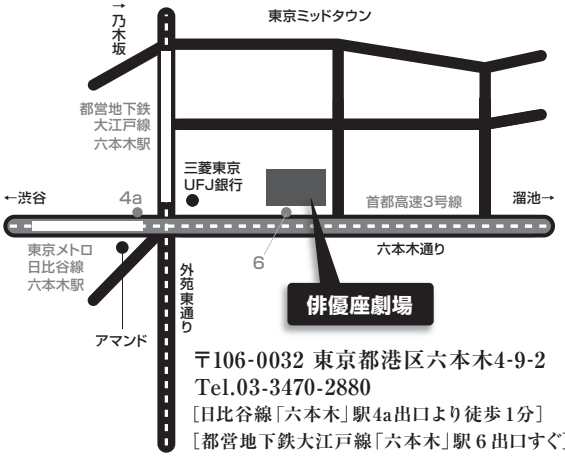
山口 眞司【医者レリング】
演劇集団 円

入場料:全席指定
前売り=5,000円　当日=5,500円　学生=2,000円(名取事務所のみにて取り扱い)
前売り・お問い合わせ
カンフェティチケットセンター0120-240-540(平日10時～18時)
カンフェティWEB予約　http://confetti-web.com/
名取事務所Tel&Fax 03-3428-8355
〒154-0015 世田谷区桜新町2-21-7 臼井ビル301
http://www.nato.jp/(お客様窓口よりチケットのお申し込みが出来ます)
お電話の際はお名前ご連絡先を必ずお知らせください。折り返しこちらからご連絡させて頂きます。
〔チケットのお申し込みは、出来ましたら、お名前、ご住所、電話番号と、ご希望日時・枚数を明記の上、Faxにてお願いいたします。〕
チケット代金振込先=(有)名取事務所
郵便振替　口座番号　00120－4－182879
銀行振込口座　三菱東京UFJ銀行　押上駅前支店　(当)197990

全席指定

11月	21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
14:00	―	●	●	●	●
19:00	●	●	―	―	―

開場は開演の30分前です。＊未就学児童の入場はお断りしております。



〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2
Tel.03-3470-2880
[日比谷線「六本木」駅4a出口より徒歩1分]
[都営地下鉄大江戸線「六本木」駅6出口すぐ]

協 力=(有)東京舞台企画・NPO舞台21・NPOグローバルプランナーズ
(社)名取事務所・劇団俳優座・円企画・文学座・オフィスK2
Pカンパニー・東京舞台照明・ウチヤマ工房・(株)ワイズ

※名取事務所では今回の公演を手伝ってくださる方を募集しております。詳細は名取事務所まで。